光ガ丘中だより～光あふれて～

R８年度
１１月号

大きな花を咲かせるために

校　長　　井　川　勝　博

「絶対失敗しない方法。それは挑戦しないこと。」という言葉があります。
失敗しなければ､恥ずかしい思いをすることもないし､悔しい思いをすることもないかもしれません。しかし、そこに自分の成長があるのでしょうか。
ある心理学の先生はカウンセリング等の多くの経験から、活躍している人物たちには共通点があることがわかったそうです。それは「たくさんの失敗を経験していること」だそうです。
その先生は、「若いうちは失敗したほうがいい」「失敗の数と成功の数は比例するから」と語っています。失敗は挑戦した証です。そこで立ち止まることがあっても、そこから学び、考え、そしてもう一度、挑戦する。そして人は大きく成長するのかもしれません。
　小学校の校長先生だった深澤さんの言葉を引用します。

「まちがいや失敗をするな」と、俺は言わない。
大事なことを間違えなければいいのだから。大事なことで失敗しなければいいのだから。
間違いや失敗を恐れてはならない。
俺が言う大事なこととは、二度と立ち上がれない自分になるかどうかということだ。
意思と体力で支えきれなくなるかどうかというときだ。
他の間違いや失敗は、星の数ほどあったにしても、少しも怖がることはない。
間違いや失敗から正しく学んでいく限り、自分を高めていけるからだ。
間違いや失敗を一つもしない人間は、結局何にもしなかったやつなのだ。

　もう一つ、心に残っている話があります。
　蓮の花は、きれいな澄んだ水よりも、泥の多い水の中で大きく美しい花を咲かせるといわれています。もしかしたら、人の人生も蓮の花の咲かせ方と似ているのかもしれません。思い通りにいかなかったり、苦しいことがあったり。そんな経験を積んでいく中で、人の痛みを分かったり、相手に優しくなれたり、そして自分自身を大きく強く成長させることになるのではないのでしょうか。
　今の失敗は未来の成功の種なのかもしれません。今の悩みや苦しみは、未来に大きな花を咲かせるための力になるのかもしれません。
　一人一人の生徒が、失敗を恐れず、自分らしい花を大きく咲かせるようにこれからも応援したいと考えています。

生命は海で誕生したのに、人間がいま陸で生活しているのはなぜか知っていますか？
僕らの遠い祖先で間違って、海から陸に出ちゃった者がいるからなんです。
そう失敗して…。　　名言セラピー by ひすいこたろう